９月ほけんだより

2022 年８月 31 日
あさひ保育所

幼児に多い事故についてのお話です。
新型コロナウイルス感染症の影響で制限のある中、おうちのなかでの事故もよくきかれます。
子どもの行動は予測がつかないことも多々ありますね。
未然に防ぐことが出来ることは、周りの大人の役目ですね。

溺　水

- 入浴時、洗髪中に湯船にいた子供が溺れた。
- 着替えを取りにいっている間に転倒した。

- 頭や顔を洗うときは
  こどもを浴槽から出す。
- 浴室で、こどもだけにしない。
  一人きりにしない。

誤　飲

- たばこをかじってしまった。
- 祖父母の薬を飲んでしまった。
- チューハイを飲んでしまった。

- いつ、何を、どれだけの量を飲んだかの確認が必要です。
  ☆誤飲の１位は「たばこ」
  　　２位は「医薬品

重い中毒症状が現れるリスクが高い医薬品
☆向精神薬・血圧降下剤・血糖降下剤など。
胃洗浄が必要になり、入院することもあります。

- 薬はお菓子と間違えて誤飲することが多いようです。
  踏み台を使っても届かない、容易に開けられない場所に保管しましょう。

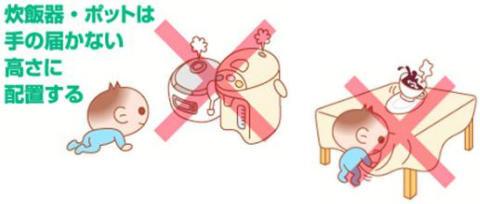
（公財）日本中毒情報センター　中毒 110 番
- 大阪中毒 110 番（24 時間対応）072-727-2499
- つくば中毒 110 番（9～21 時対応）029-852-9999

「禁煙しませんか？」
大人が口にするものを、子供が見て食べてしまうのは当然のことです。ですが、それが危険なものかどうかはわかりません。誤飲して、つらい思いをするのは子どもです。

「受動喫煙」
「子どもは歩く禁煙マーク」と言われています。妊婦さんやお腹の赤ちゃんにも悪影響になります。たばこの煙が、大切な人を傷つけていますよ。

やけど

- 花火を触った
- 汁物の汁がかかった
- 炊飯器の蒸気口を触った



- 流水で十分冷やしましょう。５分以上、痛みがなくなるまでが目安です。
- 市販されている冷却用シートは、やけどには使えません。
- 衣服がある場合は、脱がさずに服の上から流水で冷やしましょう。
- 見た目よりも深いやけどのこともあります。
  冷やしたあとは、医療機関でみてもらいましょう。